

E サスペンション

WT ロードホイール・タイヤ

作業上の注意	2	・ 接着式バランスウエイト（16 インチアルミ	
・ 注意	2	ホイールのみ）	4
ロードホイール・タイヤ	3	・ ローテーション	5
・ ロードホイールの点検	3	サービスデータ	6
・ タイヤの取り付け	3	・ ロードホイール	6
・ ホイールバランス調整	3	・ タイヤ	6
		・ 締付トルク	6

A

B

C

D

WT

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意 注意

PFP:00001

JES000JT

- 日産純正アルミホイールは、車両に合わせて設計しているので、指定車両以外に使用しないこと。
- アルミホイールのホイールナットは日産純正部品のテーパーナットを使用すること。
- 必ずホイールバランスを取ってから使用すること。バランスウエイトは、日産純正部品のアルミホイール用ウエイトを使用すること。
- アルミホイールは、傷が付きやすいために取り扱いには十分注意する。汚れを洗い落とす場合は、塗膜を傷める研磨剤、ワイヤブラシ等は使用しないこと。洗剤は中性洗剤を使用すること。
- 高速洗車機によるホイールの洗浄は避けること。
- 凍結防止の塩を散布する道路を走行した後は、ホイールを水できれいに洗うこと。
- タイヤ交換で取り外したときや車の下回りを洗浄するときは、ホイールの裏側も洗うこと。
- ホイールを取り付ける際は、ハブ面に汚れや異物がないように拭き取ってから取り付けること。
- ボルト、ナットのネジ部とナットの座面にオイルを絶対付着させないこと。
- 走行中に鋭い突起物を乗り越えたり、道路の縁石や歩道へ乗り上げたりすり当てたりしないこと。
- アルミホイールに傷が付かないように、ホイールとレンチ間にウエスや布を挟んだ後にホイールキャップを取り外すこと。

ロードホイール・タイヤ

PFP:40300

ロードホイールの点検

JES000JU

外観点検

- ・ロードホイールに変形、き裂、損傷、腐食等がないか点検する。

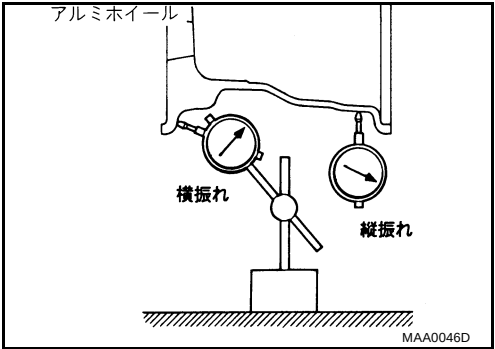
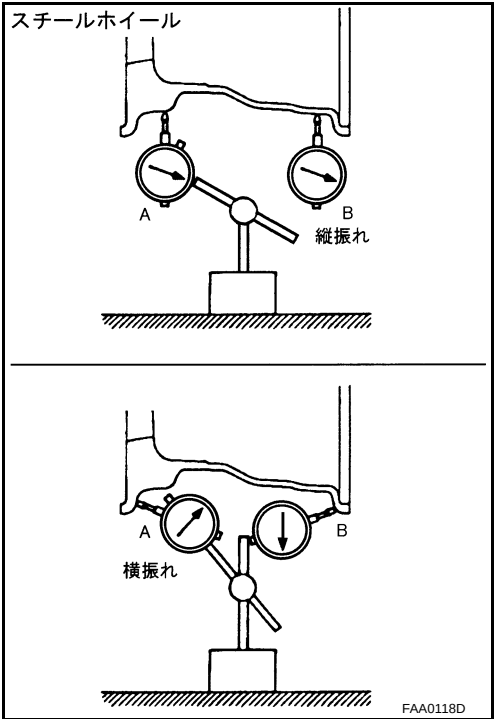
振れ点検

1. 車両をリフトアップする。
2. ロードホイールからタイヤを取り外す。
3. ロードホイールを車両に取り付け、図のようにダイヤルゲージをセットしホイールの振れを点検する。

ロード ホイール	アルミ	スチール	スペア	
			15 × 6JJ	16 × 6 1/2JJ
縦振れ限度 (平均振れ値)	0.3mm 以下	0.5mm 以下	0.5mm 以下	
横振れ限度 (平均振れ値)	0.3mm 以下	0.8mm 以下	0.8mm 以下	

注：スチールホイールは A,B 部の測定値の平均値を振れとすること。

4. 振れ限度を外れる場合は、ロードホイールを交換する。



タイヤの取り付け

JES000JV

- ・ロードホイールにタイヤを取り付ける際は、タイヤのビート部にタイヤマウントループ等の潤滑剤を塗布すること。また、取り付け後は、必ずホイールバランスを調整すること。

ホイールバランス調整

JES000JW

1. 車両よりホイールを取り外す。
2. ホイールをバランサーにセットし、調整を行う。
 - ・ホイールをバランサーにセットしたとき、ホイール上面にマーキングする。
 - ・ホイールバランスは、ストレートコーン式アタッチメントを使用したホイールバランサーで調整し、必ずコーンをホイールの裏側に当てる。

ロードホイール・タイヤ

- ・汎用テーパーコーンを使用してスチールホイールを調整する場合は、裏側からホイールを支持する。
- ・バランスウエイトの打ち込みは、必ず樹脂ハンマーを使用する。
- 注意：** バランスウエイトを取り外した場合は、必ずスチールホイール、アルミホイール共にそれぞれ専用の日産純正部品を使用し、再使用しないこと。

許容残量アンバランス量

動的（耳部にて）	：10g 以下（片側）
静的（耳部にて）	：20g 以下
バランスウエイト最大修正量	：60g 以下

3. ホイールをバランサーより取り外す。
 4. ホイールのマーキングを下にして車両に取り付ける。
 - ・バランサーにセットしたときに、車両に取り付ける上下位置を逆にして取りつける。（これは、ハブとホイールの密着する位置を、バランサー調整時と同じ位置関係にして最小アンバランス状態で車両に取り付けるためである。）
- 注意：** ホイールをひずませないように対角線の順序に 2 ～ 3 回に分けて締め付けること。

締付トルク ：108N・m {11.0kg・m}

接着式バランスウエイト（16 インチアルミホイールのみ）

JES000JX

取り外し

1. バランスウエイトをロードホイールより取り外す。

注意： ロードホイールに傷を付けないこと。
2. 離けい剤（住友 3M No. 4000 両面テープおとし）を用いて、ロードホイールに残った両面テープを除去する。

注意： ・ロードホイールに傷を付けないこと。
・両面テープを取り外した後、ロードホイールより離けい剤（住友 3M No. 4000 両面テープおとし）を拭き取ること。

ホイールバランス調整

- ・ホイールバランサーの機種によっては接着式バランスウエイト用のモード設定ができるものがあるが、下記の作業を行う場合は打ち込みウエイト用のモードを選択して調整を行うこと。
- ・調整要領の詳細は、ホイールバランサーの機種により異なるため、各機種毎の取扱説明書を参照のこと。

1. ホイールバランサーにホイールをセットし、ホイールバランサーを始動させる。
2. アウター及びインナー側のそれぞれのアンバランス量が表示されたら、表示されたアウター側のアンバランス量に 5/3 を掛け、これに最も近いウエイトを選択し、表示された位置（角度）にアウター側のウエイトをロードホイールに取り付ける。

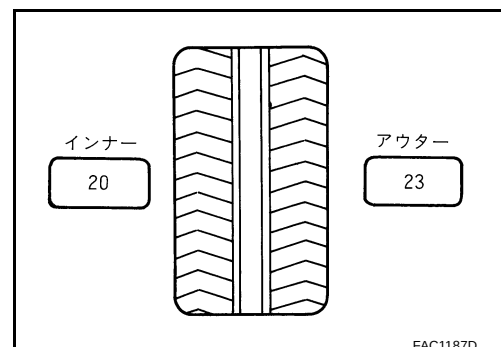
注意： アウター側のウエイトを取り付ける前にインナー側のウエイトを取り付けないこと。

表示されたアンバランス量 × 5/3 = 接着させるウエイト量

計算例：23g × 5/3 = 38.33g = 40g

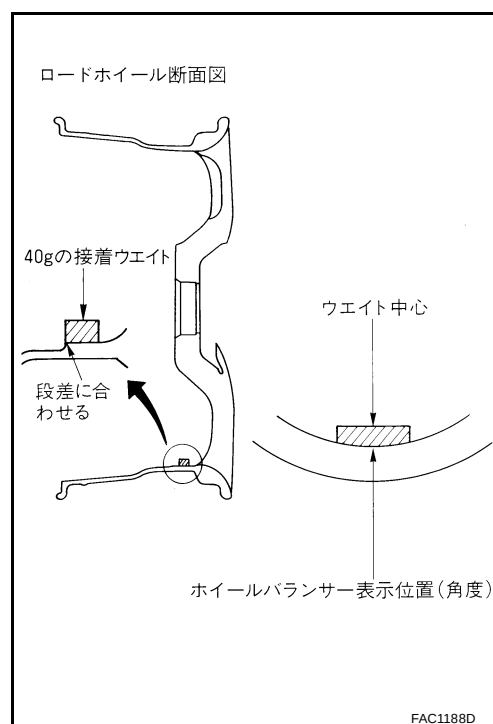
ウエイトを選択する場合、計算で出た値に最も近いウエイトを選択すること。

例 37.4 = 35g 37.5 = 40g



ロードホイール・タイヤ

- 図の位置にウェイトを取り付ける。
- ウェイトをロードホイールに取り付ける際、図のようにホイール裏面の段差に合わせ、ホイールバランサー表示位置（角度）とウェイトの中心が合うように取り付けを行う。
- 接着ウェイトは 3 枚以上取り付けないこと。

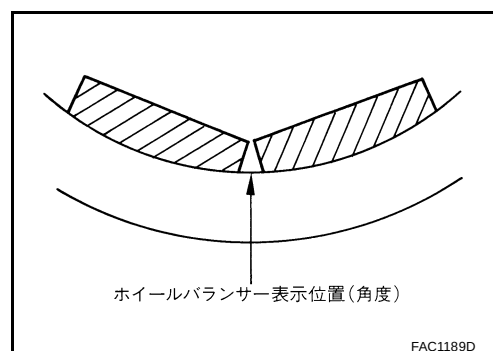


- 計算で出た値が 50 g を越えた場合は、図のように 2 枚のウェイトを並べて取り付けること。

注意： 2 枚のウェイトを取り付ける場合は、ウェイトを重ねて取り付けけないこと。

- 再度、ホイールバランサーを始動させる。
- ホイールバランサーに表示されたアンバランス量及び位置（角度）に従い、打ち込みウェイトをロードホイールのインナー側に取り付ける。

注意： 打ち込みウェイトは 2 個以上取り付けけないこと。



- ホイールバランサーを始動させ、アウター及びインナー側の残留アンバランス量が片側 10 g 以下であることを確認すること。
- なお、残留アンバランス量が片側 10 g を越えた場合は最初からもう一度同じ作業を行う。

許容残留アンバランス量

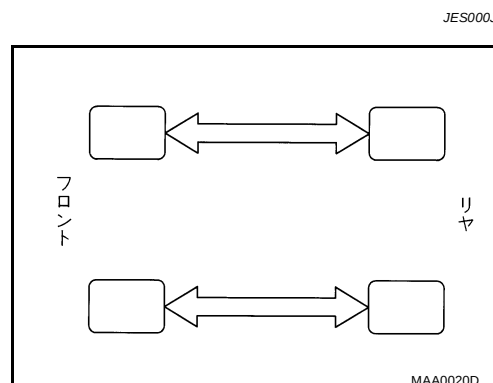
動的（耳部にて）	: 10g 以下（片側）
静的（耳部にて）	: 20g 以下
バランスウェイト最大修正量	: 60g 以下

ローテーション

- タイヤの偏摩耗を防ぎ寿命を伸ばすために約 5,000km 走行ごとに図に従ってタイヤの位置交換と同時に空気圧も点検すること。

注意： ホイールをひずませないように対角線の順序に 2 ～ 3 回に分けて締め付けること。

締め付トルク : 108N・m {11.0kg・m}



サービスデータ

サービスデータ ロードホイール

PFP:00030

JES000JZ

ホイールの種類		アルミ	スチール	スペア	
				15 × 6JJ	15 × 6 1/2JJ
縦振れ限度		0.3mm 以下	0.5mm 以下	0.5mm 以下	
横振れ限度		0.3mm 以下	0.8mm 以下	0.8mm 以下	
許容残留アンバラバランス量	動的（耳部にて）	10g 以下（片側）			
	静的（耳部にて）	20g 以下			
バランスウエイト最大修正量		60g 以下			

タイヤ

JES000K0

タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kg/cm ² })	
	前輪	後輪
215/65R16 98S	200 {2.0}	200 {2.0}
215/70R15 98S		

締付トルク

JES000K1

ホイールナット	108N・m {11.0kg・m}
---------	-------------------